

平成31年2月27日

陸前高田市議会議長 伊藤明彦様

議会広聴広報特別委員会広報小委員会  
小委員長 菅野稔

平成30年度 管外行政視察報告

議会広聴広報特別委員会広報小委員会の管外行政視察の概要は、下記のとおりでありますので報告します。

記

- 1 期 間 平成31年2月6日(水)
- 2 行政視察地 ①利府町議会(人口 36,168人 H30.12.31現在)  
及び研修項目 ・議会だよりについて  
(レイアウト及び編集、校正作業等について)
- 3 出席委員等 小委員長 菅野 稔 副小委員長 鵜浦 昌也  
委員 三井 俊介 委員 中野 貴徳  
委員 伊勢 純 委員 菅野 定  
委員 大坂 俊  
(委員 丹野 紀雄 欠席)  
随 行 主 任 石 川 聖 恵
- 4 行政視察概要 別紙報告書のとおり

# 議会広聴広報特別委員会広報小委員会行政視察報告

広報小委員会では、議会報の作成について研修するため、利府町議会を訪問し、行政視察を行いました。

## ○利府町議会

利府町議会は、これまでの町村議会広報全国コンクールにおいて、8年連続でベスト10に入賞するなど、内容が高く評価されています。そこで、本市議会広報紙の更なる充実を図るため、編集や発行の在り方などについて研修しようと視察しました。

同町議会の広報は、昭和51年5月に創刊され、平成4年にサイズをB5判からA4判へ変更、名称も「議会広報」から「議会だより」に変更し、平成28年に全体的な紙面構成の見直しを行い、現在に至っています。

広報の編集方針として、審議の結果だけでなく、審議の経過と内容をわかりやすく、正確に住民に伝えること、議会情報の広報機能と同時に中学生・高校生や大人に対する「社会教育」の材料となり得るもの、議会を傍聴しない住民に対しても、傍聴したのと同程度の情報を提供すること、議会と住民をつなぎ議会活動を正しく理解してもらうことを使命とし、レイアウトについては余裕ある紙面づくりを目指しているそうです。また、最初の見開きページには、議会だよりのトップニュースを配置、記事の見出しについては簡単で住民にとってわかりやすいもの、目を引くような内容を見出しにするなど工夫を行っているそうです。

さらに、同町内で活動する団体・サークル等をインタビュー形式で紹介するとともに議会に対する意見を掲載するコーナーや年度ごとにテーマを設定して町民から寄稿してもらうコーナーを設定するなど、住民と接点をもつ機会をつくっているとのこと。

一般質問については、登壇した議員が記事を執筆するとのことですが、一般質問の議事録が登壇後1週間程度で登壇議員へ届けられ、その中から各議員が記事に引用した箇所をマーキングし、原稿とともに提出するとの説明を受けました。編集に当たっては、議会広報発行要領の中で「議員から提供を受けた原稿、写真等については尊重するものとするが、あくまでも利府町議会が議会広報を発行するための素材であり、その取り扱いについては委員会に一任する」との文言が入っており、一般質問の原稿修正や写真の差し換えが伴うこともあるそうですが、現在のところ他の議員からの苦

情等はないとのことでした。

また、そのほかの記事について、担当者を決めて分担する仕組みは当議会と同じですが、利府町議会では、全委員が集まり、調査執筆する編集作業日を設定しているため、短期集中の委員会となっているようです。

利府町議会を視察して、住民にとってわかりやすい表現となるように工夫し、中学生にも理解できる文言や、住民の方々から寄稿していただくような仕掛けも行い、より住民が参画しやすい紙面づくりや仕組みにするなど、議会だよりを「広報媒体」としてだけでなく、「住民とのコミュニケーション媒体」にまで昇華しており、すぐにでも本市議会だよりで対応可能なものであろうと感じました。

紙面の見せ方としては、余白の使い方、挿絵や写真の使い方もより効果的なものを意識していることも説明の中から感じ、改めて紙面に空白を設けることの必要性、背景に写真を組み込んだり、特集ページを設けるなど、当市議会だよりでも一層の工夫が必要と思いました。

レイアウトの割り付けや構図は担当委員が作成し、業者へ指示をしているとのことで、作成に当たる委員の力量がとても大きいことを表しており、本市議会だよりでもレイアウト面での力量を上げる必要があると思いました。

本会議や予算等特別委員会での事業説明や多くの質疑がある中で、担当委員が紹介すべき事業や質疑内容を選定した掲載案を基に、議会広報常任委員全員で掲載内容を討議しており、ぜひ学ぶべき点と感じました。

審議の経過にも重点を置き、正確により分かりやすい記事を目指すべきだと思いました。

「りふ議会だより」の編集、発行については、優れた技術及び表現の感性を持った印刷業者の存在や楽天球団の立地、議事録作成状況などの周辺環境に恵まれていることが、内容が充実している大きな要素であると感じられたが、その好条件を編集方針、編集スケジュールをしっかりと構築することにより、さらに活かしていることが感じられ、与えられた条件を活用することが重要であることを再認識しました。

経費と時間をかけて発行している議会だよりであるので、一人でも多くの住民に手に取っていただき、双方・各位にとって有益なものとなるよう研鑽し、議会からの情報発信ツールとしてより効果的な存在となるよう努力していく必要があると感じた視察研修でした。